

コウノトリがダイビングキャッチ!?

岡山県倉敷市在住の方から寄せられた情報です。昨年福田地区の人工巣塔から巣立った J0006 (2008 年生れ、メス) が、水面にいた魚に向かって飛び込んで、次の瞬間に魚をくわえていました (写真 5・6)。

なんと、ダイビングキャッチ! ? 歩きながら採餌する様子はよく見られますが、このような採餌の様子は観察されたことはありません。これは、とても貴重な瞬間ですね。



写真 5 魚を目掛けて急降下



写真 6 見事に魚をキャッチ

写真提供
岡山県倉敷市 林 晴美 氏 (2月19日撮影)

いきもの通信

No.139

兵庫県立コウノトリの郷公園
Hyogo Prefectural Homeland for the Oriental White Stork
平成 21 (2009) 年 3 月 1 日 発行

今年の産卵 第一報

先月号も掲載しました百合地地区のペア J0275 (2000 年生れ、オス) と J0228 (1998 年生れ、メス) が、2 月に入ってから交代で巣に伏せる行動を始めるようになりました。さらに、2 月 3 日からは 1 日のうち巣に伏せる時間が観察時間の 50% 以上になり、2 月 8 日からは 90% を超えるようになったため、産卵している可能性が出てきました。そこで、2 月 12 日に高所作業車を使用して人工巣塔の巣内を観察したところ、6 個の卵を確認しました (写真 1)。その中には、まだ汚れていない白色のものもあり、産卵して間がないと思われました。現在、この親鳥は交代で巣に伏せて卵を抱えています。時々立ち上がって、卵を均等に温めるためにクチバシで転がしたり、巣を繕ったりする行動を続けています。



写真 1 クチバシで卵を転がす J0275

このペアは、同じ巣塔で一昨年には 1 羽、昨年は 2 羽のコウノトリを巣立たせています。

また、2 月 28 日に戸島地区のペア J0391 (2004 年生れ、オス) と J0294 (2001 年生れ、メス) が、昨年繁殖したこの地区の人工巣塔において 1 個産卵しているのを確認しました。

今年は、野外で何羽孵化し何羽巣立たせてくれるのか、とても楽しみです。

平成 21 年度 子どものための野生復帰講座 (予定)

当公園では、コウノトリの保護・増殖と野生復帰に取り組んでいます。コウノトリ野生復帰のフィールドとなる地域の人々はコウノトリ育む農法など様々な取り組みの中でよりよい環境作りを進めています。そのような取組を体験できる「子どものための野生復帰講座」を、平成 21 年度も開催予定です。詳細は決まり次第、ホームページやチラシにてご案内します。

対象者：小学校 4 年生～中学生
定員：30 名
日程：平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月 (全 9 回、各回 3 時間程度)
内容：コウノトリ育む農法の体験、コウノトリの飼育体験、ほか

コウノトリの羽数 (H21.2.28 現在)

1 飼育のコウノトリの羽数

	オス	メス	計
県立コウノトリの郷公園	32	36	68
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	16	16	32
計	48	52	100

2 野外にいるコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	8	11		19
野外繁殖により増えたコウノトリ	1	6	1	8
計	9	17	1	27

第 7 回コウノトリ・サイエンスカフェ (鶴見カフェ) のお知らせ

テーマ：「野生復帰のこれまでとこれから」
話題提供者：菊地 直樹 (県立コウノトリの郷公園研究員)
日時：平成 21 年 3 月 15 日 (日) 16:00 ~ 17:30
場所：サンストックアベニュー内なごみ茶屋 (豊岡市中央町 3 - 37)
定員：約 25 名 (申し込みは不要です。当日、会場にお越し下さい)
メニュー：コーヒー等の飲み物・ケーキ代 500 ~ 600 円程度が必要です。
主催：県立コウノトリの郷公園・豊岡駅通り商店街振興組合
兵庫県・コウノトリと共生する地域づくり協議会
お問い合わせ先：県立コウノトリの郷公園 担当：菊地 直樹
TEL: 0796-23-5666 FAX: 0796-23-6538
E-mail: nkikuchi@stork.u-hyogo.ac.jp



巣材の撤去作業をしました (2月12日)

1 月下旬からの J0001 (2006 年生れ、オス) と J0362 (2003 年生れ、メス) のペアによるコウノトリ保護増殖センター内の立木 (ヒマラヤスギ) に巣材を運ぶ行動は、2 月に入ってからも続き (写真 2)、やがてマウンティング (注) も見られるようになりました。ところが、放鳥コウノトリなど野外で自由に飛びまわっている鳥が、飼育コウノトリのケージ付近で巣を作ると、病原体などを持ち込まれる可能性があります。また、飼育コウノトリにストレスを与え繁殖にも影響が出てしまいます。そのために巣材を撤去し、再度巣材を置けないようにヒマラヤスギの枝を切りました (写真 3)。その後は、飼育ケージの屋根の上に巣材を運んでいますが、同じ理由で巣材を撤去しています。他の場所で繁殖行動をしてくれることを願っています。
注：通常鳥類学では交尾前にオスがメスの背中に乗ること



写真 2 高く積まれた巣材



写真 3 巣材撤去後

問い合わせ先
兵庫県立コウノトリの郷公園
〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷 128 番地
TEL: 0796-23-5666
FAX: 0796-23-6538
E-mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
URL: http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
開園時間: 9:00 ~ 17:00
休園日: 毎週月曜日 (休日に当たるときはその翌日)・12月28日~1月4日
リサイクルペーパーを使用